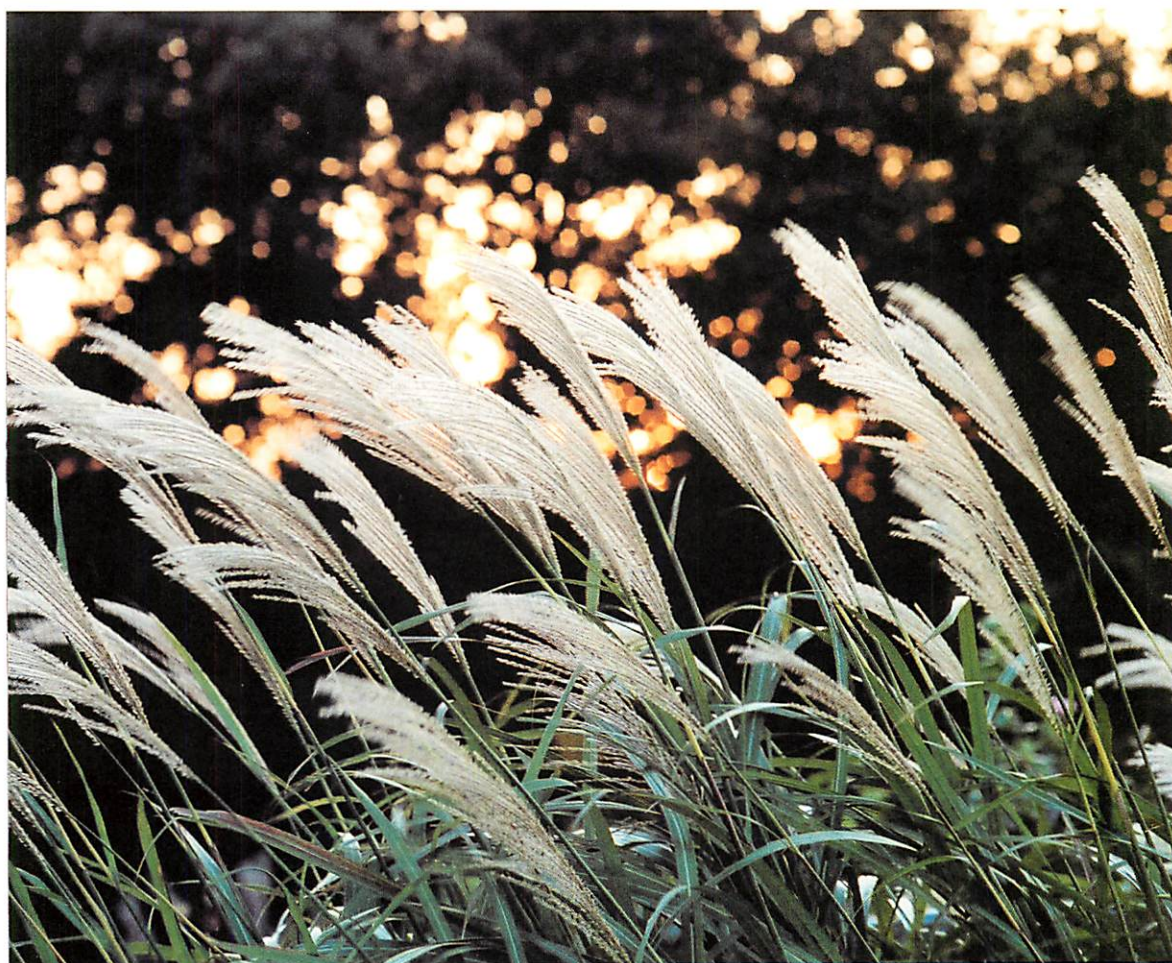


2000年

9
月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No.92



写真：「風光るころ」乙黒 勝さん

もくじ

- 2 特集 地域教育会議
- 4 生涯学習ア・ラ・カルト
- 6 ぐるーぷ BOX / イベントパーク
- 7 いま地域で学校で
- 8 暮らし百景 ステージアップ俳壇 / まち・ひと・多面体

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団

〒211-0068 川崎市中原区小杉御殿町1-950 中原小学校内
TEL 044(733)5560 / FAX 044(739)0085

特集

かわさき発信：10年を迎えた「地域教育会議」

あなたの方で地域教育力の向上を

—学校・家庭・地域の連携をめざして—

私たちは、生まれた瞬間から数えきれないほど多くの人々と交わりながら、それぞれが成長発達をしています。地域は、そうした人々の成長発達を醸し出す場と言えると思います。

「地域教育会議」は、地域からの教育改革をめざし、川崎市が全国に先駆けて独自に創り出した、学校・家庭・地域を結ぶ、地域づくり、まちづくりのための住民の自主組織なのです。活動される委員は、住民に支援された住民委員や団体・組織から選出された人〔選出委員〕と学校長や施設等の長など、その職にある人〔被選出委員〕で構成されています。

地域には、教育、芸術・文化、福祉、スポーツなどの分野に造りの深い人、伝統工芸や色々な特技や資格を持つ方がたくさんいます。「地域教育会議」には、このような人たちをはじめ、地域の教育やまちづくりに関心のある人なら誰もがボランティアとして参加できます。あなたも一緒に活動してみませんか。

「地域教育会議」とは

川崎市は、全国的に教育荒廃が目立った1984年、「川崎の教育のあり方」を方向づけるため、「川崎の教育を考える市民会議」を設け、市内242ヵ所で、4万人の市民の参加を得て教育市民討議を行い6500人の方から発言



地元夏祭でおみこし担ぎする中学生（臨港中学校区）

を得ました。これらの声をふまえて1986年「川崎市教育懇談会」は、『いきいきとした川崎の教育をめざして』を提言しました。この中に、地域からの教育改革をめざし、地域教育力の再生にむけた新しい住民組織の「地域教育会議」の設置が提起されました。「地域教育会議」は、1990年、市内3中学校区で始まり、その後51全中学校区及び7行政区に拡大しました。

地域教育会議の活動は多彩

地域教育会議は、地域の特色を反映し地域の実情に沿った活動を進め、私たちのまちの生活、教育・文化にふれあう生涯学習の場なのです。



教育を語るつどい（川崎区）

市内「中学校区地域教育会議」の活動は、地域マップ・人材リスト・関係団体の名簿等の作成・陶芸・パソコン講座、子ども会議・教育を語るつどい・イベントの開催、広報紙の発行等々多彩な活動を行っています。

そのなかでも、特に今号では川崎区の「臨港中学校区地域教育会議」を取り上げました。



地区懇談会（榊形中学校区）

19歳の住民委員も誕生

臨港中学校区広報紙「地域のわ」第7号より

臨港中学校区地域教育会議は、当初34名の委員でしたが現在48名となっています。今年からは19歳の最若手の委員や女性団体からの新規参加もあり、高齢の議長にいたる多層・多世代型の組織になり、活動の幅が広がる可能性が期待されています。

今年の総会の席上臨港中学校の校長から「授業で子どもたちと一緒に勉強しませんか」と新しい提案が寄せられ、小学校からもリアクションがあって地域への期待の大きさがうかがわれました。

＜ラーメン店などで体験学習＞

地域教育会議が昨年企画した夏休みの体験学習には、地元の写真店、中華料理店、保育園など17店舗に100名近い中学生が参加。「楽しかった。勉強になった。またやりたい」と言う声が多かったので今年も実施されました。



車椅子の視覚障害者を介助

＜体験学習に参加した中学生の感想＞

- ・最初は消極的でしたが、いつの間にかやる気が出て楽しくなりました。(こども文化センター)
- ・父の仕事の大変さがわかりました。(インテリア業)
- ・赤ちゃんを抱くのはとても大変だった。体験して学んだり、将来のことを考えたりした。(保健所)
- ・何より仕事をしている人が生き生きだし、社長さんは「忙しいなあ」と言いながら実に楽しそう。(写真店)

＜中学生を受け入れた店主の感想＞



パン屋さんの店頭販売

- ・若い力ですばやく行動してくれて助かりました。(高齢障害者作業所)
- ・ちょっとつっぱり気味の生徒も、一生懸命働き、礼儀正しくとても素直で好感がもてました。(中華料理店)

＜今年は高校生も参加できます＞

(体験メニュー)

老人ホーム、高齢者介助、障害者作業所、こども文化センター、愛泉ホーム、保育園、幼稚園、病院、図書館、保健所、新聞店、写真店、中華料理店、花屋、パン屋、クリーニング屋、スーパー、工務店、インテリア業、機械リース業、配管業、土建業

地域教育会議に携わった方々の声

★事務局を4年間担当した教職員

仕事は大変でしたが、住民委員の「子どもたちとのふれあいもでき、先生方の教育への情熱が伝わり、先生を見直した」。教職員からは「広報紙づくりのすばらしい方を、学校新聞づくりに招きたい。地域には、学校では呼べない講師を招く力がある」。

★7年目を迎えた住民委員・事務局員

年々活動も増してきました。地域を知り、ネットワークができるなど一定の成果はあったと思います。しかしマンネリ化しないよう気をつけています。

★地域教育会議委員

- ・地域の教育力も捨てたものじゃないと感じた。
- ・広報紙配布の折「頑張って」との声に励まされている。
- ・地域教育会議の活動を通してものの見方が広がった。
- ・地域の各団体がどんな活動をしているかが分かった。
- ・地域教育会議がどういうものかまだよく分からない。
- ・地域に広める為にどうすれば良いか悩んでいる。

★地域教育会議に対する評価

- ・立場や年代の異なる人と人をつないでいる。
- ・地域の中の人の輪が広がり、共に学べる時がきた。
- ・広報紙によって「学校が見え、地域が分かり」、団体やサークル・ボランティアとのネットワークもできる。
- ・地域の子育て・高齢者や環境・交通問題など身近な悩みも話し合うことができる。



地域教育会議総会(菅生中学校区)

あすの「地域教育会議」にむけて

◇地域が変われば学校も変わる。地域が活力に満ちていれば、大人たちも子どもたちもいきいきします。まちづくりは人づくり、人づくりは地域で生み出されるのです。

◇21世紀の地域教育会議は、各地域が特色を生かし独自性を出し合う時代です。音楽、美術、スポーツや介護活動等による地域教育会議と様々です。こうした地域教育会議全体の活動が川崎の文化水準を高いものにします。

川崎市は、現在「子どもの権利条例」制定づくりをすすめています。この条例の精神を生かし、子どもを主体としたまちづくりへの提案が、地域住民の自主組織としての地域教育会議に期待されます。

●まなぶ●

「はじめての陶芸」 受講者募集

陶芸を基礎から学び、世界に一つしかない、オリジナルの器を作ってみませんか？

木曜コース

10月12日～平成13年1月25日 9:30～12:00 全8回

土曜コース

10月7日～平成13年2月3日 13:30～16:00 全8回



- 【会 場】 川崎市青少年創作センター
(小田急線 生田駅下車 徒歩10分)
- 【対 象】 市内在住・在勤の18歳以上
- 【定 員】 各24人
- 【内 容】 陶芸の基礎から学習し、掘り起こし法や紐づくり法、板づくり法で、湯のみや花瓶などを制作
- 【費 用】 受講料 18000円(材料費・焼成料込み)
道具は自分で用意するか、別途購入(3000円程度)
- 【申し込み】 9月12日(火)まで官製ハガキに「はじめての陶芸申し込み」と記し、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、下記あてにお申し込み下さい。
- 【申 込 先】 〒211-0004
中原区新丸子東3-473-2
中小企業・婦人会館内
財川崎市生涯学習振興事業団 学習事業室
「はじめての陶芸・曜コース」係
- 【そ の 他】 抽選の結果、受講料納入方法については、9月18日(月)ごろまでに連絡いたします。

問い合わせ 学習事業室 ☎044(431)1051

生涯学習ア

●たのしむ●

大人のための健康づくりスポーツ
「ゴルフ教室」 受講者募集

若さと健康を保つため、体力作りのため、ゴルフを学んでみませんか。初心者の方、もっと上達したい方、参加をお待ちしています。

- 【期 間】 10月10日～12月12日毎週火曜 全10回
- 【時 間】 14時～15時半
- 【会 場】 百合ヶ丘カントリー倶楽部
(小田急線「新百合ヶ丘駅」からバス)
- 【定 員】 15人(抽選)
- 【内 容】 ウッド、アイアン、アプローチ、ルール他
- 【講 師】 井上 明(アシスタント・プロ)
- 【受 講 料】 21000円(入場料・ボール代・保険代含む)
- 【申し込み】 9月26日(火)必着で、往復はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号を記し、下記あてにお申し込み下さい。
〒211-0052 中原区等々力1-3
とどろきアリーナ内
川崎市生涯学習振興事業団スポーツ事業室

問い合わせ スポーツ事業室 ☎044(798)5348

●さがす●

利用されています 「ふれあいネット」

下の表は今年4月1日から6月30日までに「ふれあいネット」の利用者端末を使った方の数です。

情報の種類	件数
施設情報	29,600
見学情報	454
講座・催し物情報	1,321
団体・グループ情報	1,049
指導者・人材情報	639
視聴覚教材情報	168
電子掲示板情報	2,938
合 計	36,169

「ふれあいネット」には学習情報がたくさん入っていますが、「施設予約をするための機械」と思っている人が多いようです。生涯学習に役立つ情報を簡単に引き出せ、しかも必要な所を印刷できますので、どうぞご利用ください。

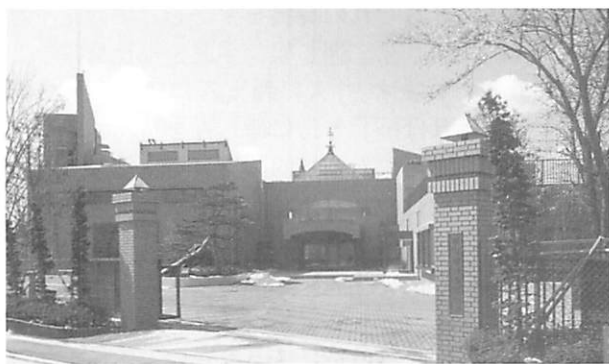
問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

ラ・カルト

●はぐくむ●

宿泊研修もできます

「川崎市青少年の家」ご案内



「青少年の家」は、青少年団体が宿泊を通して社会性を身につけ、情操を豊かにし、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とした施設ですが、一般成人団体もご利用いただけます。ぜひご活用下さい。

【主な施設】

- ・ 宿泊室 (30室) ……165人の宿泊ができます
 - ・ プレイホール ……軽スポーツなどができます
- その他に音楽室・創作活動室・研修室など6室、屋外プールがあります。園庭ではキャンプファイアーやバーベキューができます。

【利用対象】

青少年団体や児童・生徒、一般成人団体など

【費用】

日帰り施設利用料…1100円～15000円
(利用施設・時間により異なる)
宿泊料(1人1泊)…小学生以下300円、中学生400円
高校生800円、その他1500円

【申し込み】

電話で仮予約の上、利用申請書を提出して下さい。申し込み期間は次の通りです。
日帰り利用……利用日の19日前から3日前まで
宿泊利用……青少年団体は利用の6カ月前(一般成人団体は利用の3カ月前)から20日前まで

問い合わせ 川崎市青少年の家

☎044(888)3588/Fax044(857)6623
〒216-0033 宮前区宮崎台105番地1

ハート & ハーモニー Vol.4

「運動の強さ」のイメージを持とう

生活の中にスポーツを定着させることを「スポーツの生活化」と言います。これでも大きな目標ですが、健康で活動的な生活の目標は「生活のスポーツ化」です。特にスポーツをしていない積りでも、「身体の使い惜しみをしない」で、生活の中で必要な運動ができているような状態を指します。身体を使う場面で「仕方なく」動くか、「楽しめるチャンス」だと感じるか、の違いは大きいと思います。欧州で広く認められている「スポーツ権」とは、まさに強制的な運動ではなく楽しみとして身体を動かす機会を持つ権利のことです。

運動することは「きつい」「しんどい」というイメージがあって苦手意識を持つ人もありますが、運動の強さ(きつさ)は相対的なもので、ジョギングやスイミングでは自分で決めることができます。これを「自覚的運動強度」と言い、運動に慣れてくれば正確な感覚で身に付けることができます。客観的には脈拍数の計測をして運動強度を推定しますが、一人ひとりの脈拍数には個人差があり、脈拍数を計りながら「130拍/分→きつい」「90拍/分→かなり楽である」と自分自身の数値を決めていきます。運動中の脈拍数を胸に付けた電極で感知して見ることの出来る腕時計もあります。この様に自分の物差しを持つことは「個別性の原則」として重要です。ダッシュやジャンプのように短時間であれば自覚的運動強度の100%を越える「大変にきつい」運動もあります。自覚的運動強度を判定する基準は「そのままの運動強度で5分間は持続できること」です。つまり5分間かけて全力を出し切るような強度が100%なのです。まずは50%(楽である)強度を身に付けることが健康スポーツの基本と考えましょう。

<自覚的運動強度の判定表>

強度	最大に対する%	表現	脈拍数(分)	
3	30	とても楽である	←この値を欄に入れて、自分で計ってください。	
4	40	かなり楽である		
5	50	楽である		
6	60	ややきつい		
7	70	きつい		
8	80	かなりきつい		
9	90	とてもきつい		
10	100	最大努力		-

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

ぐるーぷBOX

パドルテニスを楽しむ

「若葉クラブ」

ボーン、ボーンと体育館に響くボールの音と明るい歓声。にぎやかに「パドルテニス」を楽しんでいるのは、「若葉クラブ」(川端美津子代表、会員22人)です。

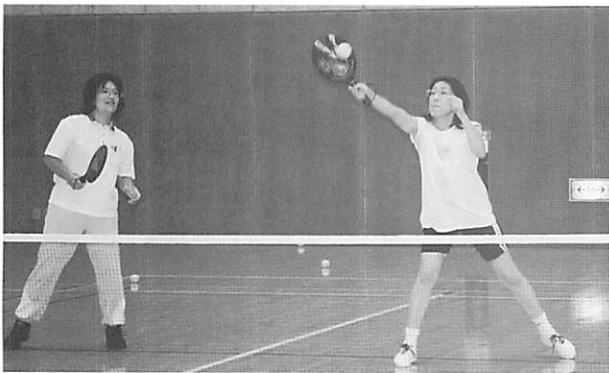
「パドルテニス」というのは、硬式テニスの小型版で、25年前日本に紹介された「ニュースポーツ」。コートはテニスの約半分。ラケットがカヌーをこぐための櫂(パドル)に似ていることからこの名前がついたそうです。

練習の中心は、コーチ(日本パドルテニス協会公認指導員)とのストロークとボレー。ストローク練習で返球がそれる人に「球だしをしている私を狙ってみて」とコーチがアドバイス。目指す所に返球しようと会員の表情もいつしか真剣に…。後半はダブルスを組んで試合形式の練習です。ラリーが続くと、周りでみている人もワクワク。「ナイス!」「いいよ、その調子」と飛び交う声。

同クラブの誕生は昨年9月。とどろきアリーナの「スポーツ教室」受講者で発足しました。川端代表は「楽しみながら長く続けていきたい」と話していました。

会員の声「スポーツの経験がない人でも気軽に楽しめます。ボールを追っていると、リフレッシュします」。

- ◆活動日：毎週木曜日 9時から
- ◆場 所：とどろきアリーナ
- ◆連絡先：☎・FAX(733)0122の川端さん



特技を生かしてボランティア

「多摩教養あゆみの会」

「多摩教養あゆみの会」(多田つぎ代表、会員12人)は多摩市民館主催のボランティア講座の受講者で発足した会です。会員はそれぞれの特技を生かし、生け花や習字、絵手紙、舞踊、切り絵、押し絵、手芸を福祉施設などに出向いて教えています。「人に教えるには、自分自身ももっと学ばなければ…」と常に研さんを積んでいます。

この日は、高津区にある知的障害者更生施設「あかしあ園」で月に1度行われる生け花サークルの活動日。2人の会員が11人に指導します。「今日のお花は5種類です。青くて丸いのがルリダマアザミですよ。それからこれが、サマリエロー…」と花材を説明。「中心にする花の長さは、器の長さの倍にするといいですよ。茎は斜めに切ってね」と机をまわりながら、一人ひとりにアドバイスしています。

竹筒に、まっすぐに花を入れた人に「全体が三角形になるような感じで生けるときれいよ。もう一度してみましょうね」と手を添えていてねいに教えていました。

会員の声「『教える人は教わる人』という気持ちで接しています。たくさんのことを学ばせてもらっています」。

- ◆活動日：定例会は月1回 木曜13時半から
- ◆場 所：定例会は多摩市民館
- ◆連絡先：☎・FAX(987)4882の多田さん



情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●ランチタイムコンサート～東海道ルネッサンス

9月20日(木)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は岡田知之のパーカッションアンサンブル。曲目は「サンセット」「お江戸日本橋」他。無料。☎(222)8821の文化財団。

●①プラザ敬老記念公演～懐かしい唄・思い出の曲をあなたに! ②プラザ秋のコンサート「中島啓江」

場所は川崎市民プラザ。①は9月8日(金)14時開演。出演は二葉あき子他。曲目は「フランチェスカの鐘」他。無料。

当日先着500人。②は10月14日(土)17時開演。童謡・唱歌からジャズ・オペラ・フォスター名曲集を。全自由席3000円。☎(888)3131。

●ミュージアムライブ

～川崎音楽賞受賞者によるクラシックピアノの夕べ

9月30日(土)18時半開演、川崎市市民ミュージアム。曲目はベートーベン「月光」他。先着300人。700円。☎9月7日(木)9時半から☎(754)4500。

●①有馬千恵子おし花展②昭和会有志による自由展

場所はスナック喫茶琴。①は9月2日(土)～30日(土)②は9月30日(土)～10月14日(土)。☎(544)0507。

●ビデオ上映会～牛山純一と仲間たち

9月15日(例)14時、川崎市市民ミュージアム。上映作品は「牛山純一と仲間たち クラ 西大西洋の遠洋航海者」。無料。当日先着50人。☎(754)4500。

●企画展・その日に—5年後、77年後～震災・記憶・芸術

9月1日(金)～10月15日(日)まで、川崎市岡本太郎美術館。震災をテーマにした写真や彫刻他。出品作家・建築家は石内都、多和圭三他。一般700円、小～大生300円。☎(900)9898。

●わくわく実験ショー～わたしたちの生活と宇宙開発

9月9日(土)10時と13時半、東芝科学館。宇宙開発によりもたらされたものの紹介他。先着250人。無料。☎(549)2200。

●①拡大写本入門講習会②朗読入門講習会

場所は川崎市中部身体障害者福祉会館。①は10月5日～11月9日の毎木曜10時、全6回。20人、抽選。テキスト代700円。②は9月30日～10月28日の毎土曜10時、全5回。30人、抽選。無料。☎①は9月27日(水)②は9月21日(水)必着で往復はがきに希望講習会名、住所、氏名、年齢、☎を記し、〒211-0068中原区小杉御殿町2の114の1、同館。☎(733)9675。

●手話入門講習会

11月2日～12月21日の木曜13時半、全7回。多摩川の里身体障害者福祉会館。40人、抽選。テキスト代のみ実費。☎10月19日(水)必着で往復はがきに講習会名、住所、氏名、年齢、☎を記し、〒214-0012多摩区中野島6の13の5、同館。☎(935)1359。

●簿記2級能力検定準備講座

10月23日～平成13年2月8日の月・木曜18時15分、全25回。場所は川崎市立労働会館。先着35人。受講料22000円、教材費1700円。☎10月1日(日)9時から☎(222)4416。

●大妻女子大学公開講座～20世紀をふりかえる

場所は大妻女子大学多摩キャンパス。9月30日～10月28日の毎土曜10時、全5回。講座のテーマは「20世紀をふりかえる」。受講料3000円(資料代含む)。先着100人。☎9月16日(土)までに往復はがきに、多摩キャンパス公開講座、住所、氏名(ふりがなも)、性別、年齢、☎、職業(勤務先)を記し、〒206-8540多摩市唐木田2の7の1、同大学事務部公開講座係。☎042(372)9988。

●明治大学公開講座～21世紀の食料供給は大丈夫か？！

9月30日～10月21日の毎土曜13時、全4回。場所は明治大学生田キャンパス。対象は市内在住・在勤の18歳以上、200人。抽選。無料。☎9月20日(水)(消印有効)までに往復はがきに、住所、氏名、年齢、☎を記し、〒214-8571多摩区東三田1の1の1、同大学科学技術研究所。☎(934)7613。

●清泉ラファエラ・アカデミア秋期講座

10月開講の通訳、スペイン語他24講座の受講者を募集中。場所は清泉女子大学宮前平キャンパス。受講料は1期10回、18000～25000円。☎03(3447)5551、同大生涯学習センター。

●東海道ルネッサンス・シンポジウム

～川崎宿物語～東海道・大師道と六郷の渡し

10月28日(土)12時、労働会館。「昔の東海道～家康の街道整備による近世の幕開け」をテーマに、作家の津本陽と田中優子・法政大学教授の基調講演と対談他。☎9月30日(土)までに往復はがき(1人1通)に、住所、氏名、年齢、☎を記

いま地域で学校で

行事に父親パワー発揮
—菅小学校PTA おとうさんボランティア—

多摩区の菅小学校PTA(白田康男会長)に「おとうさんボランティア」ができたのは平成9年。学校創立120周年行事に尽くした地元関係者を見て、父親たちの中から「自分たちも、子どもたちや学校のために何か役立つことをしたい」との声があがった。そこで、PTAが「おとうさんたちでボランティアをしませんか」と呼びかけたところ10数人の父親が応じた。いまでは運動会や「わんぱくフェスティバル」などにはかかせない存在となった。登録者も62人に増えた。



今年の運動会は前日から降り続いた雨でグラウンドには水溜りがいっぱい。お父さんたちは早朝から集まり、グラウンド整備やテントの設営に大活躍。岩淵文昭校長は「おとうさんたちの手際のよさ、連携のよさに驚くばかりです。お蔭で無事終わることができました」と感謝していた。

夫がボランティアに参加しているという女性は「会社人間の夫は、地域に仲間ができたと喜んでいきます」と話していた。

白田会長は「子供が卒業するとPTAも卒業だが、卒業後も活動に参加してほしい。ここでのつながりを大切に、地域にもボランティアが広がるようにしたい」と抱負を語った。

し、〒210-8577川崎区宮本町1、川崎市建設局総務部企画課シンポジウム実行委員会事務局。☎(200)2770。

●高齢者・からだの不自由な方・療養中の方のファッションショー～着やすく・おしゃれに・いきいきと

9月24日(日)13時、川崎市男女参画センター(すくらむ21)。無料。当日直接。☎午前中に☎(911)2221の登戸ドレスメーカー学院内グループ「糸の詩」。

●「かわさき産業デザインコンペ2000」作品募集

テーマは「資源循環・新世紀」。出品は無料。応募受け付けは9月25日(月)～10月15日(日)(消印有効)。資料請求は☎(200)2334の川崎市経済局産業振興課内、同事務局。

くらし百景 ステージ・アップ 俳壇

麻 俳句会

手鏡に青葉若葉のひしめきて
 雷鳴にこわがる犬の二重奏
 仕上りし梅干真紅百粒
 脱ぎ捨てた物を枕に夏めく日
 猫の目の藍さわさわと夏めきて
 からっぽの横穴古墳囁れり
 汚す子を身ぐるみはがす子供の日
 快癒せし母の豌豆あおあおと
 花水木宵闇ことに白がよし
 人知れず咲き散りにけり櫻の花
 老鶯の啼いて西湖の鎮まれり
 誰も居ぬ寿司屋にランチ夏はじめ
 角上げる牛にとまれる蜻蛉かな
 山揺らぐ蛭ほたるの乱舞かな
 走り梅雨タンスの癖を独り知る
 片岡球子の筆力燃ゆる夏の富士
 亜麻さぎの供ひき連れし耕運機
 蓮ひらく濁世の塵を払うごと
 ゴビの砂一握もらう星月夜

千代籠 美子 正住子 撫子 結子 哲夫 洋子 正男子 光 玲子 亮 喜久子 翠 多恵子 淑子 智恵子 志津香

*麻俳句会は、俳誌・八千草の一グルーブとして、平成十年に発足した初心者多い会です。新百合ヶ丘駅前の21ビル内、生涯学習振興事業団の一室を借りて、月二回、自分史の一句一句を重ねていくことを楽しみに集まっています。

代表 山元 志津香

まち・ひと・多面体

「ザ・運動会」で外国人と交流する 「高津青年会議」



一緒に考えようと1968年に発足した青年団体です。現在、高津区在住・在勤の20～40歳までの会員が、それぞれの職を持ちながら、高津区民祭の企画・運営をはじめ、老人ホームの慰問、多摩川清掃などさまざまな活動をしています。

問い合わせは ☎044(822)0300の同会議事務局。

「高津青年会議」(遠藤昌宏理事長・会員29人)では、地域で暮らす外国人と交流しようと、7年前から秋に「ザ・運動会」を開催しています。外国人なら誰でも参加OKで、昨年は150人が集まりました。騎馬戦、綱引き、玉入れ、自国のダンスやゲームを披露するアトラクションなど、盛りだくさんな内容で一日楽しく過ごしたそうです。遠藤理事長は「運動会にはいろいろな国の人が参加し、たいへんにぎやかです。昼食に自慢の料理を持って来たり、後片付けをしてくれたり、運動会を通して親しくなりました」と話しています。

「高津青年会議」はより豊かな地域社会を作るために

ステージ・アップ編集事務所が移転しました

川崎市生涯学習プラザの耐震補強工事のため、ステージ・アップ編集事務所が下記へ移転しました。一時移転の期間は平成13年1月31日(水)までです。

【移転先】 〒211-0052 中原区等々力1-3 とどろきアリーナ内
 ☎044(798)5311(直通) / FAX044(798)5005 (とどろきアリーナ気付)

※小誌へのご意見・ご感想、学習・文化情報などはこちらにお寄せ下さい。